北海道芸術デザイン専門学校　教科目概要（授業カリキュラム）

職業実践専門課程　環境デザイン学科（2年制）/ 専門課程　国際環境デザイン学科（3年制）

インテリアデザイン専攻

教科目	概要	1年次	2年次	3年次
インテリア概論	インテリアデザイン、コーディネーションボード等の作成を中心にもの創りの楽しさを学ぶ。インテリアデザイナー、コーディネーターとして必要な知識、技術を身に着け、実践する能力を養う。	○		
英語	芸術分野・デザイン分野の職業の中で、英語を使用する場面に必要な知識を習得する。英会話を通して、コミュニケーション能力向上を目指す。	○		
住まいと環境	安全・衛生的かつ快適な環境を実現するための基礎的な事項を学び、建築をとりまく自然環境の特性、熱移動の基本的プロセス、熱の平衡、人間の感覚と快適環境条件を理解する。	○		
色彩計画	各種表色系や、色の対比・感情効果、色彩調節の手法を実例を見ながら学び、色彩理論や目的に基づく配色計画を様々なデザインに応用することを学ぶ。カラーカードを用いた演習により、実践的な色彩計画をたてられる能力を身につける。	○		
インテリア計画Ⅰ	建築と環境、各種建築物の計画に関する基礎的な知識と技術を習得し、豊かな建築空間を合理的に計画し、設計できる能力を養う。条件（立地、予算、法規、機能）を整理検討し、具体的な形状や空間としてまとめる為の基本的な考え方を学ぶ。常用寸法やヒューマンスケールを身に付ける。	○		
インテリア計画Ⅱ・Ⅲ	住宅空間に焦点を当て、その実例を通してディテール、建築手法、計画における幅広い知識を習得する。住宅に係る要素を学び、それぞれの関係性の比重によって住宅の形態が多様であることを理解する		○	○
インテリアデザイン基礎演習	著名なインテリアデザイナーについて調べ、その分析を通じて業界の仕事に触れる。照明器具のシェード製作を通して機能とデザインの基礎を学び、言葉を使わずに意図を伝えるというデザインの役割を体験する。	○		
インテリアデザイン応用演習	既存シティホテルの改修課題。実際の物件を対象に現地視察を行い周辺状況の確認から課題条件を読み解き、各自で課題対象範囲に対してテナントの設定とインテリアの提案を行う。		○	○
基礎製図	建築図面の描き方やルールを学び、各種図面を理解しながら作図出来る基礎的能力を身につける。	○		
パースペクティブ基礎演習	設計意図を的確にクライアントに伝え、かつ自身の空間イメージの把握として、パース技法を習得する。空間のスケールと形態、開口部の位置や納まりを自己確認する能力を養う。	○		
インテリア構法	インテリアの構造・構法と仕上げに関する知識を解説。建築の技術用語、基礎的な構造形式を習得する。素材については事例分析をしながら実際のサンプルに触れて特性を学ぶ。	○		
基礎力学	構造力学の基本事項として、建築構造物の種類、力のつり合い、構造物のモデル化と作用する外力、構造物に生じる応力と変形の関係を理解する。	○		
インテリアエレメント	建築内部空間の「しつらえ」に関する部分について日常生活における具体例、実物を見ながら授業展開を行う。内装材・ファブリック・家具・照明のインテリアエレメントに対する知識を学び、ショールームで実際に確認する。	○		
インテリア施工	建築の設計から施工に至る建築生産の全工程における建築生産体制、各種の課題、施工技術について実例に基づき学習する。	○		
CAD演習Ⅰ	建築CADの概要、二次元CADによる作図の方法を学び、コンピュータを利用した設計・製図技能を習得する。CADによる建築設計製図のスキルと基礎理論の習得を目的とし、身近な空間を題材としてスケール感を把握し、的確に図面表現が出来る能力を養う。	○		
CAD演習Ⅱ・Ⅲ	コンピュータを利用して建築空間の検討や建築物の形態、室内環境、景観などをシミュレーションし、素早く、きれいに、分かり易く、設計内容を提示する能力を養う。設計に必要な技術と表現（CAD：製図、CG：プレゼン）を実践的な課題と関連付けながら学び、知識を深める。		○	○
ユニバーサルデザイン論	ハートビル法を理解し、ユニバーサルデザインを考慮した各部寸法、面積、配慮事項を設計演習を通して学ぶ。高齢者や障害者の行動特性を知り、居住環境における配慮点を考慮した設計が出来る能力を養う。基本的な建築知識を福祉領域で使用することができる。	○		
住空間計画	住宅の設計を中心に幅広く建築に触れ、計画する意味や楽しさを見出し、現地調査から設計までを体験する。建築設計の流れを把握し、インテリア設計に活かす事が目標。	○		
造形演習Ⅰ	作品製作を通じて建築設計に必要なヒューマンスケール、三次元形態の把握方法を理解する。建築物を立体的に表現する能力を身につける。	○		
造形演習Ⅱ・Ⅲ	模型制作を通して各工法の基本となる構造や名称を学習し、現場施工の手順に沿って組み立てることにより、施工の流れの概略を理解する。		○	○
DTP基礎演習	コンピューターの基本操作と、デザイン業界で世界標準のグラフィック描画ソフトIllustrator、Photoshopソフトの操作スキル、デザインテクニックを学び、検定試験の合格を目指す。	○		
DTP応用演習	プレゼンテーションにおけるDTP作業、テーマ・コンセプト内容・情報や思いが人に伝わる作品説明になるように、レイアウト、画像加工、色彩学を応用し、作品を的確にわかりやすく伝えるためのデジタルデザインを学ぶ。		○	○
インテリア模型	インテリアデザインのプレゼンテーションに、より効果的な手段としての模型制作技術を習得する。インテリア素材や家具に関する観察力を磨き、コンセプトを端的に伝えられる模型構成を目標とする。	○		

北海道芸術デザイン専門学校　教科目概要（授業カリキュラム）

3Dデザイン演習Ⅰ	効果的なプレゼンテーションに不可欠な製図技法、表現技法の一つとして、Vectorworks やRender Worksなどの CADソフトの習得を目指す。家具、室内3D空間、プレゼンテーションの作成まで、CAD／CGテクニックを習得。	○		
3Dデザイン演習Ⅱ・Ⅲ	3Dデザイン演習Ⅰにて学んだ技術を基に、より高度なモデリングテクニックを学び、外構のデザインを含めたトータルなプレゼンテーションを目指す。		○	○
インテリアディテール	『良いデザインは良いディテールの積み重ねで出来ている』ディテールの重要性を実物や素材に触れる機会を通して体験し学ぶ。インテリアディテールの基礎知識、デザイン、プレゼンテーション、素材知識、納まりを身につける	○		
インテリア設計演習	リゾートホテルのスイートルームやアパレルショップ等、各種設計条件（計画目的、周辺状況、所要スペース等）を満たす平面図兼家具配置図、透視図を描き、計画力、表現力を養う。	○		
商業施設デザイン演習Ⅰ	店舗における商環境の理解と効果的な空間デザイン計画に必要な関連法規・各部詳細・エレメントの知識を習得し、実践的な空間デザイン計画に応用する。実務としての必要図面を一式作成する。	○		
商業施設デザイン演習Ⅱ・Ⅲ	カフェレストランのデザインをモデルとして設計工程、調査・資料収集、構想、設計、プレゼンテーションまでを順を追って学習する。商業施設計画に必要な設計図書、関連法規を理解する。		○	○
インテリア装備	各部の構法・材料やエレメント（家具、照明器具、壁紙、建具、カーテン等）、防災安全・サイン計画について演習課題を通して学ぶ。		○	
住宅設計演習	住宅設計に係る基礎的な知識、技術、工法を踏まえ演習課題を通して心地よい住空間をデザインする力を養う。		○	
設備計画	建築の要素技術である建築設備の位置づけおよび概論的な内容を講義する。給排水衛生設備計画を進める上で必要となる基礎知識を習得する。		○	
建築一般	建築物の構造システムや建築形態とそれに相応しい構造材料・構造方式、および各種構造における構法を学習する。		○	
インテリア法規	建築基準法及び建築基準法施工令を基本として、建築物自体の主要な技術基準、主要な建築制限、制度規定について学び、設計に際しての実務に応用すべく能力を養う。		○	
プレゼンテーションⅠ	インテリア空間を表現するための手段としてのプレゼンテーションについて、知識と技術を学び、イメージや考えを相手に的確に伝える能力を養う。	○		
プレゼンテーションⅡ・Ⅲ	インテリアの基本計画・設計を造形的表現、技術的表現を用いて的確に伝達するビジュアルプレゼンテーション技法を学ぶ。プレゼンテーションⅠで学習した基礎技術をもとに、建築、インテリア空間をより一層明確に表現・伝達する技術を習得する。		○	○
業界研究	キャリアプラン（進路設計）を計画・実行する力を育成する。自分の目指す業界、企業の具体的な調査・分析方法を習得し、エントリーシート・履歴書・ポートフォリオの作成を行い活用する能力を養う。		○	○
前期課題制作Ⅰ	日常の講義や演習を通して学んだ発想、技法を活かし、前期のまとめとして課題制作を行い、各種コンテスト(コンペ、公募、アワード)へ出品する。	○		
前期課題制作Ⅱ・Ⅲ	必要な資料を収集するリサーチ能力や、多様な視点から発想を広げて具体的な表現に展開する力を身に付ける。		○	○
後期課題制作	日常の講義や演習を通して学んだ発想、技法を活かし、後期のまとめとして課題制作を行う。進級制作に繋がる資料収集、準備、計画に役立てる。	○	○ 3年制のみ	
進級制作	素材を活かしたインテリア空間の提案と、クライアントの要望に基づいたテーマ設定のもと、設計計画からプレゼンテーション（テーマ・コンセプト・ダイアグラム・各種図面・イメージパース（立体表現）・インテリアエレメントを含むDTP表現）まで行い、1年間の総まとめの作品を制作。	○	○ 3年制のみ	
卒業制作	独自のテーマ設定のもと、設計計画からプレゼンテーションまで、コスト管理も含めた実践的な提案に取り組む。2年間の集大成となる作品を制作。		○ 2年制のみ	○
総履修時間		1,200	1,200	1,200

取得目標資格	在学時：アソシエイトインテリアプランナー、インテリアコーディネーター、福祉住環境コーディネーター、建築CAD検定、商業施設士補、リビングスタイリスト資格試験、色彩士検定、ビジネス能力検定ジョブパス、Photoshopクリエイター能力認定試験、Illustratorクリエイター能力認定試験、2級建築施工管理技士（学科試験）など 卒業後：インテリアプランナー、二級建築士、商業施設士（商業施設士補保有者は学科試験免除）、2級建築施工管理技士、宅地建物取引主任者

※1年間で1,200単位時間、2年間で2,400単位時間、3年間で3,600単位時間学びます。

※時勢や企業のニーズにより、内容が変更になることがあります。

実務経験のある教員等による授業科目の一覧表

専門課程　環境デザイン学科 インテリアデザイン専攻

授業科目名	区分		配当年次・学期	授業時数
	必修	選択		
基礎製図	○		1年・前期	60
住宅設計演習	○		2年・前期	60
CAD演習Ⅰ	○		1年・前期	30
CAD演習Ⅱ	○		2年・前期	60
インテリア計画Ⅰ	○		1年・前期	60
インテリア計画Ⅱ	○		2年・前期	60
住まいと環境	○		1年・前期	30
設備計画	○		2年・前期	60
基礎力学	○		1年・後期	30
建築一般	○		2年・前期	30
インテリア構法	○		1年・後期	60
インテリアエレメント	○		1年・前期	60
インテリア施工	○		1年・後期	30
インテリア法規	○		2年・前期	30
造形演習Ⅰ	○		1年・前期	60
造形演習Ⅱ	○		2年・前期	60
パースペクティブ基礎演習	○		1年・前期	60
インテリア概論	○		1年・前期	30
インテリア設計演習	○		1年・後期	30
住空間計画	○		1年・後期	30
インテリアデザイン基礎演習	○		1年・前期	60
インテリアデザイン応用演習	○		2年・前期	60
プレゼンテーションⅠ	○		1年・後期	60
プレゼンテーションⅡ	○		2年・後期	60
３Ｄデザイン演習Ⅰ	○		1年・後期	30
３Ｄデザイン演習Ⅱ	○		2年・前期	60
商業施設デザイン演習Ⅰ	○		1年・後期	30
商業施設デザイン演習Ⅱ	○		2年・前期	60
DTP基礎演習	○		1年・前期	60
DTP応用演習	○		2年・後期	30
インテリアディテール	○		1年・後期	30
インテリア装備	○		2年・前期	30
インテリア模型	○		1年・後期	30
英語	○		1年・前期	30
合　計				1560

学校名	北海道芸術デザイン専門学校
設置者名	学校法人　美専学園

○成績管理の実施及び公表の概要

１．授業計画書の作成・公表に係る取組の概要	
■授業計画の作成 ・各教科指導担当教員がシラバスを作成し教務部へ提出。 ・シラバス記載内容：指導担当者と実務経験/授業概要/到達目標/授業計画/評価方法/履修上の留意点等。 ・シラバスは、以下の PDCA サイクルに基づき策定。 １月：教育課程編成委員会で各専攻教育課程試案を提示、外部委員と意見交換。３月：新年度教育課程に基づいて各教科の指導内容等を協議・確認する講師会議を実施。８月：教育課程編成委員会で運用中の教育課程について状況を報告し、助言を踏まえ必要に応じ改善を実施。 ■授業計画の公表 各専攻の教科目概要･シラバス･実務経験のある教員等による授業科目の一覧を本校 web サイトの各専攻紹介ページで公開	
授業計画書の公表方法	本校 web サイトの各専攻紹介ページで公開
２．授業科目の学修成果の評価に係る取組の概要	
学則第 12 条・13 条に基づき以下の方法で認定。 ■各教科の履修認定 ・到達目標に対する達成度/出席状況/課題提出状況を総合的に勘案。 ・評価方法等は入学後のクラスオリエンテーションで各担任が学生へ周知。 ・各教科の評定等は成績表に記載し、学期末に保護者へ送付。 ■進級の認定 ・進級制作要項に基づき、所定期間内で制作した提出物を審査会で評価。 ・評価方法等は事前に要項で学生に明示、集計表および合否は校内に掲示。 ・審査会の集計結果を踏まえ、進級要件を満たしているか認定会議で判定。	
３．客観的な指標の設定・公表及び成績評価の適切な実施に係る取組の概要	
■客観的な指標の設定・公表 ・履修科目の５段階の成績評価をつぎの配点で GP（ポイント）化する。 秀→5.0 優→4.0 良→3.0 可→2.0　不可→1.0 GPA は次の計算式に従い算出する。 GPA＝(GP×科目の単位数)/履修科目の単位数の合計 ※不可・不合格と判定されたり履修を中止した授業科目は GP＝1.0 とする。 ■成績評価の適切な実施に係る取組 ・成績管理システムで上記 GPA 算出式による GPA 帳票出力を行う ・GPA 帳票により成績分布状況を的確に把握し、期末時に指導可能な体制を整備	
客観的な指標の 算出方法の公表方法	本校 web サイトにて公開
４．卒業の認定方針の策定・公表・適切な実施に係る取組の概要	
卒業認定の方針 ・卒業制作作品に専攻の特性が活かされているか、在学期間中の集大成としてふさわしい成果物かどうか、各専攻の最終審査に基づき合否を判定。出席率・卒業制作以外の課題提出状況等、他の要件も勘案し卒業を認定。 ■卒業の認定に係る取組 ・卒業制作要項に基づき、所定期間内で制作した提出物を審査会で評価。 ・評価方法等は事前に要項で学生に明示、集計表および合否は校内に掲示。 ・審査会の集計結果を踏まえ、卒業要件を満たしているか認定会議で判定。	
卒業の認定に関する 方針の公表方法	本校 web サイトにて公開

対象学科: 環境デザイン学科
対象専攻: インテリアデザイン専攻
担当教員: 来生亜子 （非常勤講師）
実務経験: インテリアデザイン事務所にて住宅、商業施設等のデザイン、コーディネート業務。その後フリーにて活動。日本パーステック協会会員

科目名 : インテリア概論

履修形態: 必修
授業形態: 講義
履修学年: １年次
開講学期: 前期
授業時数: ３０時間
単　　位: １単位

■科目概要: インテリアデザイン、コーディネーションボード等の作成を中心にもの創りの楽しさを学ぶ。また、コンペ等に積極的に取り組む

■到達目標: インテリアデザイナー、コーディネーターとして必要な知識、技術を身に着け、実践する能力を養う

■授業計画:

第1回　オリエンテーション（インテリアデザイン、コーディネーターの仕事について）

第2回　インテリアの歴史・インテリア計画

第3回　コーディネーション、インテリアデザイン計画（コーディネーションボード制作）

第4回　コーディネーション、インテリアデザイン計画（コーディネーションボード制作）

第5回　コーディネーション、インテリアデザイン計画（コーディネーションボード制作）

第6回　インテリアエレメント・関連エレメント（インテリアエレメントボード作成）

第7回　インテリアエレメント・関連エレメント（インテリアエレメントボード作成）

第8回　インテリアエレメント・関連エレメント（インテリアエレメントボード作成）

第9回　インテリア構造

第10回　インテリア構法

第11回　インテリアコーディネーション・デザインの表現（設計図書について）

第12回　インテリアコーディネーション・デザインの表現（デザインのためのクイックパース）

第13回　インテリアコーディネーション・デザインの表現（デザインのためのクイックパース）

第14回　インテリアコーディネーション・デザインの表現（プレゼンテーション）

第15回　インテリアコーディネーション・デザインの表現（プレゼンテーション）

■教科書: インテリアコーディネーターハンドブック

■参考書:

■成績評価: 出席状況、取り組み姿勢、提出課題作品の達成度、等を総合的に評価する。

■関連科目:

■履修上の留意点:

対象学科: 環境デザイン学科
対象専攻: インテリアデザイン専攻
担当教員: 宮崎昭人 （非常勤講師）
実務経験: Just English Press Ltd.代表取締役。翻訳業務（観光・ビジネス・科学・法務分野等）海外とのやり取り代行、外国語コンテンツ制作、企業向け英会話講座

科目名 : 英語

履修形態: 必修
授業形態: 講義
履修学年: １年次
開講学期: 前期
授業時数: ３０時間
単　　位: １単位

■科目概要: 義務教育で習った英語の基本を再確認し、芸術分野、デザイン分野の職業の中で、英語を使用する場面に必要な英語力を習得する

■到達目標: 英語力の自信を深め、自力でも能力を高めることができるようになるとともに、交換留学生などと積極的に異文化交流ができるような教養を育む

■授業計画:

第1回 はじめに:仕事のシーンで間違った英語を使ってしまわない感覚を磨く

第2回 身の回りの英語:会社名、ブランド名、商品名に使われている英語の意味

第3回 英会話基礎:日本語の中の外来語の多さを理解し、英会話の基礎を学ぶ

第4回 品詞の理解:辞書の使い方

第5回 品詞別重要ポイント①:名詞、冠詞、代名詞の正しい使い方

第6回 スペルミス防止:作品のタイトル、チラシ、ポスター、看板等に見られる誤表記事例

第7回 品詞別重要ポイント②:動詞(be動詞、一般動詞)、助動詞の使い方

第8回 スペルミス防止:作品のタイトル、チラシ、ポスター、看板等に見られる誤表記事例

第9回 品詞別重要ポイント③:接続詞、形容詞、副詞、前置詞、接続詞の使い方

第10回 翻訳:翻訳の種類(直訳、意訳、超訳とはどのようなものかを理解する)

第11回 翻訳:自動的に翻訳される機械翻訳の問題点を理解し、使い方のコツを習得

第12回 自己紹介

第13回 口語英語表現、英語を必要とする様々なシーン

第14回 日常で使用する英語:住所表記、入国カード、日本食の英語表現

第15回 まとめ

■教科書: プリント配布

■参考書: 辞書があれば望ましい

■成績評価: 出席状況、取り組み姿勢、提出課題作品の達成度等を総合的に評価する。

■関連科目:

■履修上の留意点:

対象学科: 環境デザイン学科
対象専攻: インテリアデザイン専攻
担当教員: 来生亜子 （非常勤講師）
実務経験: インテリアデザイン事務所にて住宅、商業施設等のデザイン、コーディネート 業務。その後フリーにて活動。設計から入るインテリアデザインを行う

科目名 : 住まいと環境

履修形態: 必修
授業形態: 講義
履修学年: １年次
開講学期: 前期
授業時数: ３０時間
単　　位: １単位

■科目概要: 安全・衛生的かつ快適な環境を実現するための基礎的な事項を学び、建築をとりまく自然環境の特性、熱移動の基本的プロセス、熱の平衡、人間の感覚と快適環境条件を理解する

■到達目標: 熱・空気・音・光環境のメカニズムとこれらの測定技術、制御技術を理解し、人間が建物内で快適な生活を送る為の室内環境整備の基準や方法を学ぶ

■授業計画:

第1回　熱環境Ⅰ:室内環境と温熱感覚、熱損失と熱取得

第2回　熱環境Ⅱ:熱伝導、熱貫流率、熱損失係数、遮熱

第3回　熱環境Ⅲ:室温と熱負荷、不快指数、快適域

第4回　光環境Ⅰ:日照と日射、日影線図、日影時間の検討

第5回　光環境Ⅱ:採光上有効な窓、光の単位と法則、採光計画

第6回　光環境Ⅲ:室内照度分布、照明計画

第7回　空気環境Ⅰ:空気質と換気、必要換気量、換気方式

第8回　空気環境Ⅱ:換気と通風の力学、圧力差、圧力損失

第9回　空気環境Ⅲ:通風、室内気流と温度分布

第10回　湿気Ⅰ:水蒸気量、空気線図、露点温度

第11回　湿気Ⅱ:壁体の結露、(表面結露と内部結露)

第12回　音環境Ⅰ:音の伝搬と減衰、室内音響

第13回　音環境Ⅱ:吸音・遮音特性、住宅内装計画

第14回　音環境Ⅲ:騒音・振動の計測とその評価、環境基準

第15回　電磁環境:電磁環境とその障害, 電磁シールド技術

■教科書:

■参考書: 学芸出版社　専門士課程　建築計画

■成績評価: 出席状況、取り組み姿勢、提出課題作品の達成度、等を総合的に評価する。

■関連科目:

■履修上の留意点 :日常生活の中で室内照明や音響効果、室内気流と空気、温度や湿度等に関心を持ち、周辺環境を注意深く観察し、疑問を持って講義に臨んでほしい。

対象学科: 環境デザイン学科
対象専攻: インテリアデザイン専攻
担当教員: 飯塚哉子 （専任教員）
実務経験:

科目名 : **色彩計画**

履修形態: 必修
授業形態: 講義＋演習
履修学年: １年次
開講学期: 前期
授業時数: ３０時間
単　　位: １単位

■科目概要: 色彩の基本的な概念、理論を学び、環境の色彩計画・デザイン事例に触れることにより色彩計画を習得する

■到達目標: 各種表色系や、色の対比・感情効果、色彩調節の手法を実例を見ながら学び、色彩理論や目的に基づく配色計画を様々なデザインに応用する

■授業計画:

第1回　色彩設計プロセス①:色の表示方法（色名・表色系）

第2回　色彩設計プロセス②:色の知覚的効果

第3回　色彩設計プロセス③:色彩による環境調節（安全色彩）

第4回　生活空間の色彩計画①:インテリアの色彩が果たす役割、面積効果

第5回　生活空間の色彩計画②:色彩調和（ベースカラー、アソート、アクセントカラー）

第6回　生活空間の色彩計画③:色の心理的効果

第7回　商業空間の色彩計画①:光源の基礎知識、照度、輝度、演色性

第8回　商業空間の色彩計画②:配色、光の演出効果

第9回　商業空間の色彩計画③:照明手法と空間イメージ

第10回　高齢者にやさしい色彩計画①:目の構造と視細胞、視界黄変化

第11回　高齢者にやさしい色彩計画②:目の構造と視細胞、視界黄変化

第12回　高齢者にやさしい色彩計画③:デザイン事例

第13回　外観の色彩計画①:景観調和と色彩

第14回　外観の色彩計画②:塗料用標準色見本帳、塗装仕上げ

第15回　外観の色彩計画③:環境色彩計画

■教科書: Color Master Basic (NPO法人ADEC出版局) 及び プリント配布

■参考書: Color Master Standard (NPO法人ADEC出版局)、回転混色器、色立体

■成績評価: 出席状況、取り組み姿勢、提出課題作品の達成度、等を総合的に評価する。

■関連科目:

■履修上の留意点:

対象学科: 環境デザイン学科
対象専攻: インテリアデザイン専攻
担当教員: 五十嵐雄祐 （非常勤講師）
実務経験: 東京や札幌の設計事務所で実務を経験後、各種施設・ 店舗及び室内空間に関する企画、デザイン、管理等を手掛ける一級建築士事務所を設立。

科目名 : インテリア計画Ⅰ

履修形態: 必修
授業形態: 講義＋演習
履修学年: １年次
開講学期: 前期
授業時数: ６０時間
単　　位: ２単位

■科目概要: 建築と環境、各種建築物の計画に関する基礎的な知識と技術を習得し、豊かな建築空間を合理的に計画し、設計できる能力を養う

■到達目標: 建築計画の概念および設計プロセスの習得。条件（立地、予算、法規、機能）を整理検討し、具体的な形状や空間としてまとめる為の基本的な考え方を学ぶ。常用寸法やヒューマンスケールを身に付ける。

■授業計画:

第1回　地理的環境・機能と形態

第2回　安全性・美しさ・象徴性・法規と形態

第3回　人間の知覚と行動、歩行空間、建物の配置

第4回　寸法と規模の計画、単位空間と建築部位

第5回　空間構成技法（仕切りと連結）

第6回　住宅を形づくる要因（気候風土）

第7回　住宅の種類と作品

第8回　ライフスタイル、高齢化

第9回　住まいの性能

第10回　デザイン上の解法

第11回　リフォーム計画：リフォームの種類と内容

第12回　リフォーム計画：計画上の留意点

第13回　リフォーム計画：住宅性能の維持

第14回　リフォーム計画：快適性の向上

第15回　リノベーション

■教科書:

■参考書:

■成績評価: 出席状況、取り組み姿勢、提出課題作品の達成度、等を総合的に評価する。

■関連科目: インテリア計画Ⅱ

■履修上の留意点 ：日常生活の中にある空間や物の寸法、素材、納まり等を興味を持って観察して欲しい

対象学科: 環境デザイン学科
対象専攻: インテリアデザイン専攻
担当教員: 五十嵐雄祐 （非常勤講師）
実務経験: 東京や札幌の設計事務所で実務を経験後、各種施設・ 店舗及び室内空間に関する企画、デザイン、管理等を手掛ける一級建築士事務所を設立

科目名 : インテリア計画Ⅱ

履修形態: 必修
授業形態: 講義
履修学年: ２年次
開講学期: 前期
授業時数: ６０時間
単　　位: ２単位

■科目概要: 住宅空間に焦点を当て、その実例を等を通してディテール、建築手法、計画における幅広い知識を習得する

■到達目標: 住宅に係る要素を学び、それぞれの関係性の比重によって住宅の形態が多様であることを理解する

■授業計画:

第1回　住宅について:住宅建築の位置付け、多様な住宅

第2回　住宅の要素Ⅰ:外的環境（自然、地形、立地条件）

第3回　住宅の要素Ⅱ:人的環境（建築技術、生業体系、防犯、社会形態）

第4回　住宅の要素Ⅲ:文化形態、住宅の多様性

第5回　建築計画:建築計画の理論と方法

第6回　住生活と生活構造:住宅は住生活の為の空間、住生活内容の成員、生活行為

第7回　団欒・食事空間:居間、食事室の意義と要求条件、計画の要点

第8回　家事空間:台所を中心に社会・技術の発展に伴う家事空間の変遷と求められる要点

第9回　就寝空間:日本における特殊性と個室としての就寝空間の課題と計画条件

第10回　生理・衛生空間:浴室、洗面所、WCの計画上の要点

第11回　連絡空間、屋外空間:玄関、廊下、階段、庭、サービスヤードの計画上の要点

第12回　計画手法:配置計画上の要点、平面計画を行う上でのゾーニング、動線分離の解説

第13回　日本の住宅:日本住宅における構成上の特色

第14回　世界の住宅:世界の住宅における構成上の特色

第15回　今後の住宅課題:現在の住宅に至るまでの移り変わり、今後の住宅の在り方

■教科書:

■参考書: コンパクト建築設計資料集成「住居」（日本建築学会）

■成績評価: 出席状況、取り組み姿勢、提出課題作品の達成度、等を総合的に評価する。

■関連科目: インテリア計画Ⅰ

■履修上の留意点:

対象学科: 環境デザイン学科
対象専攻: インテリアデザイン専攻
担当教員: 吉田修　（非常勤講師）
実務経験: 大手ゼネコン設計部にて商業施設系の設計に携わった後、ヘルシンキ工科大学建築学科への留学で北欧デザインを学ぶ。一級建築士事務所主宰。

科目名　:　インテリアデザイン基礎演習

履修形態: 必修
授業形態: 演習
履修学年: １年次
開講学期: 前期
授業時数: ６０時間
単　　位: ２単位

■科目概要: 著名なインテリアデザイナーについて調べ、その分析を通じて業界の仕事に触れる。照明器具のシェード製作を通して機能とデザインの基礎を学ぶ

■到達目標: グループ作業を通じて協働で作業することの大切さ、他人の意見を尊重するという社会人としてのマナーを身に付ける。照明製作を通じてイメージを形にする難しさと達成感を学び言葉を使わずに意図を伝えるというデザインの役割を体験する

■授業計画:

第1回　事例分析1:デザインの意味、役割について考える。著名なｲﾝﾃﾘｱデザイナーの紹介

第2回　事例分析2:デザイナーのキャリア、デザインに対する考え方についてグループ学習

第3回　事例分析3:中間発表を通して最初の自分の考え方との差異を議論

第4回　事例分析4:デザイナーの思いや考えがどのように形に表現されているか分析

第5回　事例分析5:最終発表、プレゼンテーション

第6回　照明器具の製作1:照明の果たす役割、種類について

第7回　照明器具の製作2:ファーストアイデアをプレゼンテーション

第8回　照明器具の製作3:ペーパーモデル（S=1/3）の製作（デザイン意図と形の整合性）

第9回　照明器具の製作4:試作を重ね、アイディアの進化、改良

第10回　照明器具の製作5:プロポーション、ディテールを詰める

第11回　照明器具の製作6:ペーパーモデル（原寸）の製作

第12回　照明器具の製作7:電球器具の取り付け（熱、大きさ、明るさ）

第13回　照明器具の製作8:ペーパーモデル（原寸）の発表。修正点洗い出し

第14回　照明器具の製作9:最終モデルの製作（材質の違いによる問題点）

第15回　照明器具の製作10:最終発表（消灯、点灯時の照明としての役割、造形、意図を議論）

■教科書:

■参考書:

■成績評価: 出席状況、取り組み姿勢、提出課題作品の達成度、等を総合的に評価する。

■関連科目: インテリアデザイン応用演習

■履修上の留意点:

対象学科: 環境デザイン学科
対象専攻: インテリアデザイン専攻
担当教員: 吉田修　（非常勤講師）
実務経験: 大手ゼネコン設計部にて商業施設系の設計に携わった後、ヘルシンキ工科大学建築学科への留学で北欧デザインを学ぶ。一級建築士事務所主宰

科目名　:　インテリアデザイン応用演習

履修形態: 必修
授業形態: 演習
履修学年: ２年次
開講学期: 前期
授業時数: ６０時間
単　　位: ２単位

■科目概要: 既存シティホテルの改修課題。実際の物件を対象に現地視察を行い周辺状況の確認から課題条件を読み解き、各自で課題対象範囲に対してテナントの設定とインテリアの提案を行う

■到達目標: 与えられた時間内にアイディアをまとめ、それを実際のクライアントを想定して見る人に分かるレベルとし、更にプロとして責任をもって説明できることを目指す

■授業計画:

第1回　図面の解読と条件把握。事前に問題点を論議整理

第2回　現地見学、情報収集

第3回　中間発表（実現可能性について論議）

第4回　模型製作及び事例情報の収集①

第5回　模型製作及び事例情報の収集②

第6回　中間発表（白模型の提出とアイディアスケッチ）

第7回　空間造形①（平面図、断面図）

第8回　空間造形②（平面図、断面図）

第9回　中間発表（図面と模型の提出）プレゼンテーション

第10回　フィードバック（発表で指摘された部分の修正作業）

第11回　詳細検討（素材、什器、照明etc.）

第12回　中間発表（図面と模型の提出）修正点の説明

第13回　模型及び図面の仕上げ①

第14回　模型及び図面の仕上げ②

第15回　最終発表

■教科書:

■参考書:

■成績評価: 出席状況、取り組み姿勢、提出課題作品の達成度、等を総合的に評価する。

■関連科目: インテリアデザイン基礎演習

■履修上の留意点:

対象学科: 環境デザイン学科
対象専攻: インテリアデザイン専攻
担当教員: 宮前和生　（非常勤講師）
実務経験: 商業施設・公共施設・住宅などのインテリア企画・立案・設計を業務とするインテリアデザイン会社の代表として従事

科目名　:　基礎製図

履修形態: 必修
授業形態: 演習
履修学年: １年次
開講学期: 前期
授業時数: ６０時間
単　　位: ２単位

■科目概要: 建築図面の描き方やルールを学び、各種図面を理解しながら作図出来る基礎的能力を身につける

■到達目標: 建築製図の基礎的知識、技法を学び、演習課題を通じて製図の手法、技法のみならず、部材名、構造、納まり等を習得する

■授業計画:

第1回　建築製図の基本（製図用具、製図のルール、JIS）

第2回　線と文字の練習

第3回　立体の理解（正投影図、アイソメ、アクソメ）

第4回　立体の理解（展開図）

第5回　木造平面図（グリッド、柱、大壁、真壁）

第6回　木造平面図（建具：窓、戸、造付け設備、タイル等割付線）

第7回　木造平面図（室名、出入口表示、寸法線）

第8回　立面図

第9回　断面図

第10回　配置図・屋根伏図

第11回　矩計図

第12回　基礎伏図（フーチング、床下換気口、土間コン）

第13回　床伏図（土台、大引、根太、束、火打ち）

第14回　小屋伏図（棟木、母屋、軒桁、梁、垂木、小屋束）

第15回　平面詳細図

■教科書: 株式会社学芸出版社　建築製図基本の基本

■参考書:

■成績評価: 出席状況、取り組み姿勢、提出課題作品の達成度、等を総合的に評価する。

■関連科目:

■履修上の留意点:

対象学科: 環境デザイン学科
対象専攻: インテリアデザイン専攻
担当教員: 松原祐子 （非常勤講師）
実務経験: 大手企業のインテリアデザイナーとして、戸建て住宅・ マンションのモデルルーム企画デザイン及びデザイン監理業務を担当

科目名 : **パースペクティブ基礎演習**

履修形態: 必修
授業形態: 演習
履修学年: １年次
開講学期: 前期
授業時数: ６０時間
単　　位: ２単位

■科目概要: 設計意図を的確にクライアントに伝え、かつ自身の空間イメージの把握として、パース技法を習得する

■到達目標: パースを通して空間のスケールと形態、開口部の位置や納まりを自己確認する能力を養う

■授業計画:

第1回　透視図の基本と用語。SPの距離と見え方、HL, ELの高さと見え方

第2回　基本プランニング・エスキース

第3回　平面計画:イメージパース（一消点透視図）

第4回　基本設計:イメージパース（一消点透視図）

第5回　平面図:イメージパース（二消点透視図）

第6回　平面図:イメージパース（二消点透視図）

第7回　展開図:リアスティックな内観パース（エレメントの配置）

第8回　天井伏図:照明計画・俯瞰図

第9回　断面図、アイソメ

第10回　断面図、アクソメ

第11回　立面図、外観パース（ファサード・テクスチュア）

第12回　立面図、外観パース（窓・ミラーの表現）

第13回　完成予想パース

第14回　鳥瞰図、樹木の表現と種類

第15回　プレゼンテーション、講評

■教科書:

■参考書:

■成績評価: 出席状況、取り組み姿勢、提出課題作品の達成度、等を総合的に評価する。

■関連科目:

■履修上の留意点:

対象学科: 環境デザイン学科
対象専攻: インテリアデザイン専攻
担当教員: 吉田修　（非常勤講師）
実務経験: 大手ゼネコン設計部にて商業施設系の設計に携わった後、ヘルシンキ工科大学建築学科への留学で北欧デザインを学ぶ。一級建築士事務所主宰。

科目名　:　インテリア構法

履修形態: 必修
授業形態: 講義＋演習
履修学年: １年次
開講学期: 後期
授業時数: ６０時間
単　　位: ２単位

■科目概要: インテリアの構造・構法と仕上げに関する知識を解説。建築の技術用語、基礎的な構造形式を習得する

■到達目標: 建築構造の基礎的な技術用語、納まりを理解し、習得した技術用語をベースに専門性の深堀りが行えるようにする

■授業計画:

第1回　木構造と木材

第2回　鉄骨構造と鋼材

第3回　鉄筋コンクリート構造とコンクリート

第4回　その他の構造

第5回　プレハブ構法

第6回　床の構法（下地と仕上げ）　演習課題1

第7回　壁の構法（下地と仕上げ）　演習課題2

第8回　開口部（下地と仕上げ）　演習課題3

第9回　天井の構法（下地と仕上げ）

第10回　スペースユニット

第11回　造作と造作材、建具

第12回　断熱材料

第13回　吸音材と遮音材

第14回　防火材料

第15回　防水材料・シール材・接着剤

■教科書:

■参考書:

■成績評価: 出席状況、取り組み姿勢、提出課題作品の達成度、等を総合的に評価する。

■関連科目:

■履修上の留意点 :建築技術の全体像を把握し、専門用語を習得して欲しい。

対象学科: 環境デザイン学科
対象専攻: インテリアデザイン専攻
担当教員: 飯塚哉子 （専任教員）
実務経験: ファブリケーターの設計部にてホテルや複合施設、庁舎等の鋼構造物の詳細設計・ 構造設計・ 積算を担当

科目名 : **基礎力学**

履修形態: 必修
授業形態: 講義＋演習
履修学年: １年次
開講学期: 後期
授業時数: ３０時間
単　　位: １単位

■科目概要: 構造力学の基本事項として、建築構造物の種類、力のつり合い、構造物のモデル化と作用する外力、構造物に生じる応力と変形の関係を理解する

■到達目標: 安全な構造物を設計するための基礎として力と変形の関係について学び、簡単な構造物の変形や応力の解析を行える能力を演習を通して養う

■授業計画:

第1回　ガイダンス、基礎数理、構造の役割と構成

第2回　力の合成と分解、力のつり合い、使用単位

第3回　構造物のモデル化、構造物に作用する荷重、支点と反力

第4回　構造物の安定・不安定、静定構造物の反力の算定

第5回　静定ばりの応力算定：片持ち梁、単純梁

第6回　静定ばりの応力算定：跳ね出し梁

第7回　静定ラーメンの応力算定：応力図（M,N,Q）

第8回　片持ちばり系、単純ばり系、3ピンラーメン

第9回　静定トラスの応力算定：トラスの種類、トラスの解法

第10回　静定トラスの応力算定：節点法、切断法

第11回　断面の性質、断面一次モーメント、断面二次モーメント

第12回　断面係数、断面2次半径、断面極2次モーメント

第13回　垂直・せん断応力度、曲げ応力度、許容応力度

第14回　部材の変形、$\sigma-\varepsilon$ 曲線、たわみ

第15回　座屈、期末テスト

■教科書: 実教出版株式会社　最新建築構造設計入門　-力学から設計まで-

■参考書: 株式会社 学芸出版社 〈専門士課程〉建築構造

■成績評価: 出席状況、取り組み姿勢、提出課題作品の達成度、等を総合的に評価する。

■関連科目:

■履修上の留意点 :高等学校における数学と物理学（特に力学）の履修を前提としている為、各自の理解度を確認して問題集等に取り組んで欲しい。

対象学科: 環境デザイン学科
対象専攻: インテリアデザイン専攻
担当教員: 増永佳奈 （非常勤講師）
実務経験: 建築設計事務所・ 工務店勤務を経て『 日々暮色舎』を設立し住宅リフォームを中心に家づくりを総合的に行っている。北海道インテリアコーディネーター協会会長

科目名 : **インテリアエレメント**

履修形態: 必修
授業形態: 講義＋演習
履修学年: １年次
開講学期: 前期
授業時数: ６０時間
単　　位: ２単位

■科目概要: 建築内部空間の「しつらえ」に関する部分について日常生活における具体例、実物を見ながら授業展開を行う

■到達目標: 室内を構成する要素である建具等の材料特性、加工方法、仕組みについて理解する

■授業計画:

第1回 エレメントの分類と特性:製品の規格・性能、選定、発注、設置

第2回 建築の一部を構成し工事を伴うエレメント①(造作系:内装仕上げ部材、建具部材)

第3回 建築の一部を構成し工事を伴うエレメント①(構造や下地の基礎知識)

第4回 建築の一部を構成し工事を伴うエレメント①(造作系:間仕切、収納部材、階段)

第5回 建築の一部を構成し工事を伴うエレメント②(設備系:給排水、換気・空調設備機器)

第6回 建築の一部を構成し工事を伴うエレメント②(設備系:水回り、照明電機設備機器)

第7回 生活行為をサポートする用具系エレメント

第8回 生活環境を整えるエレメント(ウインドートリートメント)

第9回 関連エレメント

第10回 メーカーのショールーム見学(実物確認)コーディネーションボードの作成

第11回 建具(内部建具、外部建具、建築金物)

第12回 床(木質系、プラスチック系、石・タイル系、繊維系)

第13回 壁(塗壁、タイル、壁装、間仕切)

第14回 天井(直天井、吊り天井)

第15回 照明(照明方法、照明方式、建築化照明、昼光率)

■教科書:

■参考書:

■成績評価: 出席状況、取り組み姿勢、提出課題作品の達成度、等を総合的に評価する。

■関連科目:

■履修上の留意点:

対象学科: 環境デザイン学科
対象専攻: インテリアデザイン専攻
担当教員: 飯塚哉子 （専任教員）
実務経験: ファブリケーターの設計部にてホテルや複合施設、庁舎等の鋼構造物の詳細設計・ 施工図・ 積算を担当

科目名 : **インテリア施工**

履修形態: 必修
授業形態: 講義
履修学年: １年次
開講学期: 後期
授業時数: ３０時間
単　　位: １単位

■科目概要: 建築の設計から施工に至る建築生産の全工程における建築生産体制、各種の課題、施工技術について実例に基づき解説する

■到達目標: 建築物が生産される過程に関する広範な知識を習得し、構造種別にしたがった各種技術、建築物の性能（安全性、経済性、生産性、環境性等）について総合的に評価する能力を身に着ける

■授業計画:

第1回　工事管理（工程管理・原価管理・品質管理）

第2回　施工計画と施工管理

第3回　内装各種工事①（軽量鉄骨下地、左官工事、タイル工事）

第4回　内装各種工事②（建具・ガラス工事、塗装工事）

第5回　内装各種工事③（金属工事、張り石工事、床工事）

第6回　仮説工事・土工事・基礎工事

第7回　鉄筋・型枠工事

第8回　コンクリート工事①（材料、調合、品質管理、試験）

第9回　コンクリート工事②（運搬、養生、各種コンクリート）

第10回　鉄骨工事（鋼材、接合、建方、耐火被覆）

第11回　木工事（材料、加工、造作、在来、２×４）

第12回　組積工事（コンクリートブロック、ALC、れんが）

第13回　防水・断熱工事

第14回　設備工事、施工機器

第15回　積算、工事請負契約

■教科書:

■参考書: 株式会社 学芸出版社 〈専門士課程〉建築施工

■成績評価: 出席状況、取り組み姿勢、提出課題作品の達成度、等を総合的に評価する。

■関連科目: インテリア構法

■履修上の留意点:

対象学科: 環境デザイン学科
対象専攻: インテリアデザイン専攻
担当教員: 飯塚哉子 （専任教員）
実務経験: ファブリケーターの設計部にてホテルや複合施設、庁舎等の鋼構造物の詳細設計（ CADによる作図）を担当

科目名 : **CAD演習Ⅰ**

履修形態: 必修
授業形態: 演習
履修学年: １年次
開講学期: 前期
授業時数: ３０時間
単　　位: １単位

■科目概要: 建築CADの概要、二次元CADによる作図の方法を学び、コンピュータを利用した設計・製図技能を習得する

■到達目標: CADによる建築設計製図のスキルと基礎理論の習得を目的とし、身近な空間を題材としてスケール感を把握し、的確に図面表現が出来る能力を養う

■授業計画:

第1回　基本操作1（作図環境の設定、2次元図形の基本的な作図）CAD製図のJIS規格

第2回　基本操作2（レイヤー、クラス、縮尺、寸法）

第3回　配置図の作図:線種表現（境界線、点景、方位、駐車場）

第4回　住宅の平面図:画面情報を利用した効率的な作図技術（柱、壁、開口部）

第5回　住宅の平面図:線分と面を利用した作図の概念（建具、設備機器）

第6回　住宅の平面図:図形登録を利用した効率的な作図技術（ハッチング、タイルパターン）

第7回　住宅の断面図:レイヤの概念と利用法（床高、天井高、軒高、最高高さ）

第8回　住宅の断面図:腰高、内法高、見えがかり

第9回　住宅の立面図:平面図からの投影下書き線

第10回　住宅の立面図:軒高、基礎高、開口部内法、屋根勾配

第11回　矩計図:材料構造表示記号、仕上材名称

第12回　天井伏図:換気口、点検口、天井埋込照明器具

第13回　床伏図:土台、大引、火打、根太

第14回　面積表、全体レイアウト

第15回　まとめ、ポートフォリオ（課題作品集）作成

■教科書:

■参考書:

■成績評価: 出席状況、取り組み姿勢、提出課題作品の達成度、等を総合的に評価する。

■関連科目: CAD演習Ⅱ

■履修上の留意点:

対象学科: 環境デザイン学科
対象専攻: インテリアデザイン専攻
担当教員: 今井正樹　（非常勤講師）
実務経験: ハウスメーカー、ゼネコン、ビルダーの設計を経て、現在は設計事務所として住宅、店舗等の設計管理が業務。3DCGによる完成予想図を手掛ける。

科目名　:　CAD演習Ⅱ

履修形態: 必修
授業形態: 演習
履修学年: ２年次
開講学期: 前期
授業時数: ６０時間
単　　位: ２単位

■科目概要: コンピュータを利用して建築空間の検討や建築物の形態、室内環境、景観などをシミュレーションし、素早く、きれいに、分かり易く、設計内容を提示する能力を養う

■到達目標: 設計に必要な技術と表現（CAD：製図、CG：プレゼン）を実践的な課題と関連付けながら学び、知識を深める

■授業計画:

第1回　敷地図作図:フロアプラン、CADによる簡易3Dモデリング

第2回　ボリュームスタディによる建物の大きさ、バランス検討

第3回　ブロックプラン、ダイアグラム、動線

第4回　基本設計　配置図兼平面図　ラフ3D

第5回　構造・設備コア、耐震壁

第6回　複写機能による各階平面図、画層作成、編集機能

第7回　平面詳細図　オブジェクトの階層構造と作業環境

第8回　屋根の形状作成と壁高の調整

第9回　外観のCG作成　マテリアルの作成とマッピング

第10回　立面図修正

第11回　室内空間のCG（美しく質感豊かな透視図を作成）

第12回　展開図修正

第13回　イメージ（光源・背景等）の仕上げ

第14回　照明計画図作図

第15回　まとめ、合評

■教科書:

■参考書:

■成績評価: 出席状況、取り組み姿勢、提出課題作品の達成度、等を総合的に評価する。

■関連科目: CAD演習Ⅰ

■履修上の留意点:

対象学科: 環境デザイン学科
対象専攻: インテリアデザイン専攻
担当教員: 飯塚哉子 （専任教員）
実務経験:

科目名 :	ユニバーサルデザイン論

履修形態: 必修
授業形態: 講義
履修学年: １年次
開講学期: 後期
授業時数: ３０時間
単　　位: １単位

■科目概要: ハートビル法を理解し、ユニバーサルデザインを考慮した各部寸法、面積、配慮事項を設計演習を通して学ぶ

■到達目標: 高齢者や障害者の行動特性を知り、居住環境における配慮点を考慮した設計が出来る能力を養う。基本的な建築知識を福祉領域で使用することができる

■授業計画:

第1回　ユニバーサルデザインと社会

第2回　福祉住環境に関連する制度と法規定:ハートビル法

第3回　バリアフリーの住宅計画①(障害者の住宅計画)

第4回　バリアフリーの住宅計画①:玄関、アプローチ

第5回　バリアフリーの住宅計画①:浴室、便所

第6回　バリアフリーの住宅計画①:居室、台所

第7回　バリアフリーの住宅計画②(高齢者の住宅計画)

第8回　バリアフリーの住宅計画②:玄関、アプローチ、スロープ、ELV

第9回　バリアフリーの住宅計画②:浴室、脱衣室、便所、洗面所

第10回　バリアフリーの住宅計画②:居室、台所、設備

第11回　バリアフリーの公共施設計画

第12回　バリアフリーの公共施設計画:プランニング

第13回　バリアフリーの公共施設計画:誘導用ブロック、音声誘導装置

第14回　バリアフリーの公共施設計画:通路、出入口有効幅員、駐車場

第15回　地域で取り組む福祉のまちづくり

■教科書:

■参考書: 『福祉住環境コーディネーター検定試験3級公式テキスト』(東京商工会議所)

■成績評価: 出席状況、取り組み姿勢、提出課題作品の達成度、等を総合的に評価する。

■関連科目:

■履修上の留意点:

対象学科: 環境デザイン学科
対象専攻: インテリアデザイン専攻
担当教員: 五十嵐雄祐　（非常勤講師）
実務経験: 東京や札幌の設計事務所で実務を経験後、各種施設・ 店舗及び室内空間に関する企画、デザイン、管理等を手掛ける一級建築士事務所を設立。

科目名 : 住空間計画

履修形態: 必修
授業形態: 演習
履修学年: １年次
開講学期: 後期
授業時数: ３０時間
単　　位: １単位

■科目概要: 前期で学んだ建築知識を総合的に活用し、快適で美しい建築物を設計する実務的能力を養う

■到達目標: 現地調査を行い、プランから設計まで、住宅設計に係る一連の流れを習得し、プレゼンシートとしてまとめる

■授業計画:

第1回　設計事例紹介、設計条件の確認（用途地域、高さ制限）

第2回　現地調査（周辺環境、近隣との関係）、エスキース

第3回　設計主旨と配置プラン

第4回　ボリューム模型

第5回　配置図、平面プラン

第6回　採光・換気・設備に関する法規制

第7回　平面図

第8回　立面図

第9回　断面図

第10回　面積表

第11回　模型

第12回　内観パース

第13回　外観パース

第14回　プレゼンテーション

第15回　合評

■教科書:

■参考書:

■成績評価: 出席状況、取り組み姿勢、提出課題作品の達成度、等を総合的に評価する。

■関連科目:

■履修上の留意点:

対象学科: 環境デザイン学科
対象専攻: インテリアデザイン専攻
担当教員: 大塚裕介 （非常勤講師）
実務経験: 設計事務所にて商業施設・ 公共施設・ 住宅などの設計に携わった後、建築設計・ プロダクト デザインを手掛けるデザイン事務所を主宰

科目名 : 造形演習Ⅰ

履修形態: 必修
授業形態: 演習
履修学年: １年次
開講学期: 前期
授業時数: ６０時間
単　　位: ２単位

■科目概要: 作品製作を通じて建築設計に必要なヒューマンスケール、三次元形態の把握方法を理解する

■到達目標: 建築模型が正確に作成出来、建築物を立体的に表現する能力を身につける

■授業計画:

第1回　教室模型の制作1:課題説明、実測

第2回　教室模型の制作2:模型用図面の製図

第3回　教室模型の制作3:展開図

第4回　教室模型の制作4:モデルボードの性質、カット法

第5回　教室模型の制作5:部材切り出し

第6回　教室模型の制作6:組み立て

第7回　住宅模型の制作1:エスキース

第8回　住宅模型の制作2:模型用図面の製図

第9回　住宅模型の制作3:外部展開図

第10回　住宅模型の制作4:部材切り出し

第11回　住宅模型の制作5:開口部

第12回　住宅模型の制作6:組み立て

第13回　住宅模型の制作7:スタディモデルによる発想と展開

第14回　住宅模型の制作8:図面修正

第15回　合評:プレゼンテーション

■教科書:

■参考書: グラフィック社 『モデリングテクニック』

■成績評価: 出席状況、取り組み姿勢、提出課題作品の達成度、等を総合的に評価する。

■関連科目: 造形演習Ⅱ

■履修上の留意点:

対象学科: 環境デザイン学科
対象専攻: インテリアデザイン専攻
担当教員: 大塚裕介　（非常勤講師）
実務経験: 設計事務所にて商業施設・ 公共施設・ 住宅などの設計に携わった後、建築設計・ プロダクト デザインを手掛けるデザイン事務所を主宰

科目名 : **造形演習Ⅱ**

履修形態: 必修
授業形態: 演習
履修学年: ２年次
開講学期: 前期
授業時数: ６０時間
単　　位: ２単位

■科目概要: 模型制作を通して各工法の基本となる構造や名称を学習し、現場施工の手順に沿って組み立てることにより、施工の流れの概略を理解する

■到達目標: 構造模型制作を通して、部材構成および部材名称を理解し、組立図から基礎伏図、小屋組図を読み取る能力を養う

■授業計画:

第1回　ガイダンス、図面確認（平面図、伏図、軸組図）

第2回　【木造在来構法】基礎伏図（敷地、基礎、束石）

第3回　〃　床束、根がらみ、土台（継手・仕口）、火打ち

第4回　〃　床伏図（大引き、根太、根太掛け）

第5回　〃　建て方（通し柱、管柱、木材の元口と末口）

第6回　〃　大梁、胴差し、火打ち梁、小ばり、2階床組

第7回　〃　小屋ばり、軒桁、小屋組（棟木、母屋）

第8回　〃　垂木、、まぐさ、窓台、間柱、筋かい

第9回　【枠組壁工法】ツーバイフォー工法に使用される材料特性

第10回　〃　基礎、土台、1階床組

第11回　〃　1階壁組（はり間方向）　隅柱、かい木

第12回　〃　1階壁組（けた方向）　ころび止め、頭つなぎ

第13回　〃　2階床組、2階壁組

第14回　〃　小屋組、仕上げ

第15回　合評（工法の違いによる構造的特長）

■教科書:

■参考書:

■成績評価: 出席状況、取り組み姿勢、提出課題作品の達成度、等を総合的に評価する。

■関連科目: 造形演習Ⅰ

■履修上の留意点:

対象学科: 環境デザイン学科
対象専攻: インテリアデザイン専攻
担当教員: 島田佳孝　（非常勤講師）
実務経験: 北海道の設計事務所で実務を経験後、不動産と設計の会社を設立。設計競技のプレゼンテーションを手掛ける。

科目名　:　DTP基礎演習

履修形態: 必修
授業形態: 演習
履修学年: １年次
開講学期: 前期
授業時数: ６０時間
単　　位: ２単位

■科目概要: プレゼンテーションを作成する上で必要なイラストレーター・フォトショップの基礎知識と技術を学び、イメージや考えを相手に的確に伝える能力を養う

■到達目標: 演習課題を通してIllustrator/photoshopスタンダード認定試験の合格を目指す

■授業計画:

第1回　プレゼンテーション概要:様々な業界のCG事例を紹介

第2回　イラストレーター基礎①:イラストレーター作業環境を知る。用紙サイズ・カラーモード

第3回　イラストレーター基礎②:主に使用するツールパレットの説明。ベジェ曲線演習

第4回　イラストレーター基礎③:練習問題を通じて作図演習

第5回　イラストレーター基礎④:フィルタ・効果の説明

第6回　フォトショップ基礎①:フォトショップの作業環境を知る。画像サイズ・カラーモード

第7回　フォトショップ基礎②:主に使用するツールパレットの説明、選択範囲

第8回　フォトショップ基礎③:色調・レベル補正概要の説明、画像加工演習を行う

第9回　フォトショップ基礎④:フィルタ効果等説明、作業演習

第10回　イラストレーター演習①:学校祭ポスター・旗の作成

第11回　イラストレーター演習②:学校祭ポスター・旗の作成

第12回　イラストレーター演習③:個人名刺作成

第13回　フォトショップ演習①:CDジャケット作成①資料収集、分析

第14回　フォトショップ演習②:CDジャケット作成②、画像加工

第15回　フォトショップ演習③:CDジャケット作成③、仕上

■教科書: 世界一わかりやすいIllustrator/Photoshop操作とデザインの教科書（技術評論社）

■参考書: Illustrator能力認定試験問題集、Photoshop能力認定試験問題集

■成績評価: 出席状況、取り組み姿勢、提出課題作品の達成度、等を総合的に評価する。

■関連科目: DTP応用演習

■履修上の留意点:

対象学科: 環境デザイン学科
対象専攻: インテリアデザイン専攻
担当教員: 大塚裕介 （非常勤講師）
実務経験: 設計事務所にて商業施設・公共施設・住宅などの設計に携わった後、設計競技のプレゼンテーションを手掛けるデザイン事務所を主宰。

科目名 : DTP応用演習

履修形態: 必修
授業形態: 演習
履修学年: ２年次
開講学期: 後期
授業時数: ３０時間
単　　位: １単位

■科目概要: 複数のグラフィックスアプリケーションを用い、文字やグラフィックを自在に操る技術と知識を実践的に修得する

■到達目標: イメージング技術、デジタル環境下におけるレイアウト技術について、実務的な作品の制作工程を通じて展開力を身につける。適切に思考を表現し、第三者へ伝えることができる

■授業計画:

第1回　テーマからコンセプト

第2回　コンセプト案を可視化するたのエスキース

第3回　基本設計

第4回　スタディ模型にてボリューム検討、ダイアグラムの作成

第5回　基本設計図の作成(平面図、立面図、断面図)

第6回　画像加工①CG加工:内観パースモデリング

第7回　画像加工②CG加工:内観パーステクスチャ

第8回　画像加工③CG加工:外観パース

第9回　画像加工①模型写真加工

第10回　画像加工②模型写真加工

第11回　レイアウト(コンセプト、ダイアグラム、図面、パース)

第12回　カラーバランス

第13回　レイアウト調整、再構成

第14回　仕上、高解像度レンダリング、校正チェック

第15回　出力

■教科書:

■参考書:

■成績評価: 出席状況、取り組み姿勢、提出課題作品の達成度、等を総合的に評価する。

■関連科目: DTP基礎演習

■履修上の留意点:

対象学科: 環境デザイン学科
対象専攻: インテリアデザイン専攻
担当教員: 大塚裕介 （非常勤講師）
実務経験: 設計事務所にて商業施設・ 公共施設・ 住宅などの設計に携わった後、建築設計・ プロダクト デザインを手掛けるデザイン事務所を主宰

科目名 : インテリア模型

履修形態: 必修
授業形態: 演習
履修学年: １年次
開講学期: 後期
授業時数: ３０時間
単　　位: １単位

■科目概要: 本授業ではインテリア模型作成の応用技法を学び、プレゼンテーションツールとしての活かし方を身につけることを目指す

■到達目標: コンセプトを端的に伝えられる模型構成、カメラアングル、Photoshopスキルを身につける。必要とされる模型表現と作業時間のバランスを身につける

■授業計画:

第1回　アトリエの建築模型達

第2回　模型の道具と材料

第3回　材料加工のテクニック:切る

第4回　材料加工のテクニック:削る

第5回　材料加工のテクニック:曲げる

第6回　材料加工のテクニック:接着

第7回　材料加工のテクニック:塗装

第8回　細密表現、素材の質感

第9回　植栽の作り方

第10回　人、車の作り方

第11回　模型撮影:セッティンング、ライティング

第12回　画像加工、補正

第13回　背景合成

第14回　プレゼンテーション

第15回　合評

■教科書:

■参考書: グラフィック社 『モデリングテクニック』

■成績評価: 出席状況、取り組み姿勢、提出課題作品の達成度、等を総合的に評価する。

■関連科目:

■履修上の留意点:

対象学科: 環境デザイン学科
対象専攻: インテリアデザイン専攻
担当教員: 今井正樹 （非常勤講師）
実務経験: ハウスメーカー、ゼネコン、ビルダーの設計を経て、現在は設計事務所として住宅、店舗等の設計管理が業務。3DCGによる完成予想図を手掛ける。

科目名 : 3Dデザイン演習Ⅰ

履修形態: 必修
授業形態: 演習
履修学年: １年次
開講学期: 後期
授業時数: ３０時間
単　　位: １単位

■科目概要: 効果的なプレゼンテーションに不可欠な製図技法、表現技法の一つとして、Vectorworks やRender Worksなどの ＣＡＤソフトの習得を目指す

■到達目標: 家具、室内３Ｄ空間の作成、プレゼンテーションの作成まで、ＣＡＤ／ＣＧテクニックを習得

■授業計画:

第1回　3D基本操作、柱状体の作成を通じて3Dの基礎を学ぶ

第2回　回転体の作成、3Dパス、3Dツール操作練習

第3回　3D図形の加工（噛み合わせ、削り取り）、3D視点操作（投影、アングル設定）

第4回　テクスチャーの取り込み、マッピング練習

第5回　レンダリングの使い分け、照明計画（太陽光、直接光、間接光）

第6回　家具のモデリング（椅子）

第7回　家具のモデリング（テーブル）

第8回　インテリア空間のモデリング、レイヤとクラスの設定、下図作成

第9回　床、壁の作成、シートレイヤ、画面登録、ビューポート

第10回　天井の作成、シートレイヤ、画面登録、ビューポート

第11回　テクスチャー

第12回　光源調整、アングル調整、レンダリング

第13回　イメージ、テキスト入力、レイアウト

第14回　プレゼンボードレイアウト調整、プリントアウト

第15回　合評

■教科書:

■参考書:

■成績評価: 出席状況、取り組み姿勢、提出課題作品の達成度、等を総合的に評価する。

■関連科目: 3Dデザイン演習Ⅱ

■履修上の留意点:

対象学科: 環境デザイン学科
対象専攻: インテリアデザイン専攻
担当教員: 今井正樹　（非常勤講師）
実務経験: ハウスメーカー、ゼネコン、ビルダーの設計を経て、現在は設計事務所として住宅、店舗等の設計管理が業務。3DCGによる完成予想図を手掛ける。

科目名　:　3Dデザイン演習Ⅱ

履修形態: 必修
授業形態: 演習
履修学年: ２年次
開講学期: 前期
授業時数: ６０時間
単　　位: ２単位

■科目概要: 3Dデザイン演習Ⅰにて学んだ技術を基に、より高度なモデリングテクニックを習得する

■到達目標: 家具、室内３Ｄ空間の作成、プレゼンテーションの作成まで、ＣＡＤ／ＣＧテクニックを習得。Vectorworks Designerの機能を使い、外構のデザイン等、トータルのプレゼンテーションを目指す

■授業計画:

第1回　多層階のモデリングの作成:初期設定、基本ツール、コマンド練習

第2回　多層階のモデリングの作成:ストーリの作成、基礎の設定

第3回　多層階のモデリングの作成:1階の柱、壁、床の作成

第4回　多層階のモデリングの作成:ハイブリッドシンボル、プラグインオブジェクトの配置

第5回　多層階のモデリングの作成:2階の作成、2階バルコニー、屋上塔屋の作成

第6回　多層階のモデリングの作成:外構の作成、パースの作成、ビューポート設定

第7回　多層階のモデリングの作成:各階平面図、立面図、断面図、パースの取り出し

第8回　エスキス;建築ボリューム・配置の検討、外構検討

第9回　エスキス;平面計画の検討

第10回　壁の設定、壁の自動生成、床、天井の設定

第11回　プラグインオブジェクトの挿入、各階の屋根等作成、ハイブリッドオブジェクトの作成

第12回　図面枠、表題欄、プレゼンテーションの作成フロー、配置図、平面図等の取り出し

第13回　断面図、立面図等取り出し

第14回　パースの作成、取り出し

第15回　シートレイヤの変更調整、プリントアウト

■教科書:

■参考書:

■成績評価: 出席状況、取り組み姿勢、提出課題作品の達成度、等を総合的に評価する。

■関連科目: 3Dデザイン演習Ⅰ

■履修上の留意点:

対象学科: 環境デザイン学科
対象専攻: インテリアデザイン専攻
担当教員: 増永佳奈　（非常勤講師）
実務経験: 建築設計事務所・工務店勤務を経て『日々暮色舎』を設立し住宅リフォームを中心に家づくりを総合的に行っている。北海道インテリアコーディネーター協会会長

科目名　：　インテリアディテール

履修形態: 必修
授業形態: 講義
履修学年: １年次
開講学期: 後期
授業時数: ３０時間
単　　位: １単位

■科目概要: 『良いデザインは良いディテールの積み重ねで出来ている』ディテールの重要性を実物や素材に触れる機会を通して体験し学ぶ

■到達目標: インテリアディテールの基礎知識、デザイン、プレゼンテーション、素材知識、納まりを身につける

■授業計画:

第1回　校内探索（仕上げ材、工法、納まり）

第2回　校外学習①（ウィンドウトリートメント）

第3回　光のさまざまな表情を暮らしに生かす

第4回　空間を光でつなぐ心理効果

第5回　暮らしを豊かにする天窓

第6回　心地好さを生む風の動線計画

第7回　校外学習②（住宅）

第8回　一工夫で「使う場所」から「過ごす場所」に

第9回　利便性を高める動線

第10回　飾るスペースの提案（階段、廊下）、収納計画

第11回　気配と光を伝える建具のスリット、空間に風穴を開ける

第12回　家具収納で空間を緩やかに仕切る

第13回　建具の開閉で開放感と落ち着きをコントロール

第14回　意匠的な魅力もある室内壁の穴

第15回　将来変化に対応するディテール

■教科書: インテリアコーディネーターハンドブック（上・下）

■参考書:

■成績評価: 出席状況、取り組み姿勢、提出課題作品の達成度、等を総合的に評価する。

■関連科目:

■履修上の留意点:

対象学科: 環境デザイン学科
対象専攻: インテリアデザイン専攻
担当教員: 松原祐子 （非常勤講師）
実務経験: 大手企業のインテリアデザイナーとして、戸建て住宅・マンションのモデルルーム企画デザイン及びデザイン監理業務を担当

科目名 : インテリア設計演習

履修形態: 必修
授業形態: 演習
履修学年: １年次
開講学期: 後期
授業時数: ３０時間
単　　位: １単位

■科目概要: デッサンの基礎を交えながら、空間の把握、造形やデザイン感覚の育成、レイアウト図簡易図法で表現する力を養いクイックパースを習得する。平面詳細図を通して寸法の押さえを再確認する

■到達目標: インテリアコーディネーター資格試験、インテリアプランナー資格試験の実技合格を目標とする

■授業計画:

第1回　簡易図法（一消点透視図）平面図を読み解き空間構成を完成させる

第2回　一消点透視図のグリットシートを作成しトレースダウン

第3回　着彩、提出

第4回　IP資格試験設計製図：問題読解、設計条件の確認

第5回　IP資格試験設計製図：エスキース（計画・構成）

第6回　IP資格試験設計製図：1/50平面図兼家具配置図作図

第7回　IP資格試験設計製図：1/50平面図兼家具配置図作図

第8回　IP資格試験設計製図：床・壁・天井の仕上げ記入

第9回　IP資格試験設計製図：平面図の意図を反映させた透視図の作図

第10回　IP資格試験設計製図：トレースダウン

第11回　IP資格試験設計製図：透視図の彩色（形状）

第12回　IP資格試験設計製図：透視図の彩色（材質感）

第13回　IP資格試験設計製図：透視図の彩色（仕上げ）

第14回　IP資格試験設計製図：部分スケッチ（主要寸法）

第15回　IP資格試験設計製図：部分スケッチ（着彩、仕上げ）

■教科書:

■参考書:

■成績評価: 出席状況、取り組み姿勢、提出課題作品の達成度、等を総合的に評価する。

■関連科目:

■履修上の留意点:

対象学科: 環境デザイン学科
対象専攻: インテリアデザイン専攻
担当教員: 宮前和生　（非常勤講師）
実務経験: 商業施設・ 公共施設・ 住宅などのインテリア企画・ 立案・ 設計を業務とするインテリアデザイン会社の代表として従事

科目名 : **商業施設デザイン演習Ⅰ**

履修形態: 必修
授業形態: 演習
履修学年: １年次
開講学期: 後期
授業時数: ３０時間
単　　位: １単位

■科目概要: 商業施設の設計図トレースを通じ、コンクリート造軽量鉄骨仕上げの下地、内部仕上げ、建具等のディテール、納まりを理解する。第三角法による什器図の作図

■到達目標: オフィス・マンション・商業施設等のビル内部におけるインテリアの設計技術、家具・什器の製図技術を習得する

■授業計画:

第1回　製図規約の再確認と応用

第2回　線種表現、基準線と寸法線、表示記号

第3回　RC造、計量鉄骨間仕切り壁の理解

第4回　内部開口部、外部開口部

第5回　平面詳細提出

第6回　展開図の作図（高さの基準、CH）

第7回　展開図の作図（窓の位置、仕上げの記入）

第8回　展開図提出

第9回　天井伏図（仕上げ、組み天井下地の理解）

第10回　天井伏図（照明計画）

第11回　天井伏図提出

第12回　什器図（正投影法）

第13回　什器図（平面図・正面図・断面図・側面図）

第14回　什器図提出

第15回　合評

■教科書: 株式会社学芸出版社　建築製図基本の基本

■参考書:

■成績評価: 出席状況、取り組み姿勢、提出課題作品の達成度、等を総合的に評価する。

■関連科目:

■履修上の留意点:

対象学科: 環境デザイン学科
対象専攻: インテリアデザイン専攻
担当教員: 宮前和生 （非常勤講師）
実務経験: 商業施設・ 公共施設・ 住宅などのインテリア企画・ 立案・ 設計を業務とするインテリアデザイン会社の代表として従事

科目名 : 商業施設デザイン演習Ⅱ

履修形態: 必修
授業形態: 演習
履修学年: ２年次
開講学期: 前期
授業時数: ６０時間
単　　位: ２単位

■科目概要: カフェレストランのデザインをモデルとして設計工程、調査・資料収集、構想、設計、プレゼンテーションまでを順を追って学習する。商業施設計画に必要な設計図書、関連法規を理解する

■到達目標: 業態・消費者の動向、デザイン傾向、立地環境等を分析把握し立案、基本設計及びプレゼンターションとしてまとめる能力を習得

■授業計画:

第1回　商業施設デザイン概論:カフェレストラン構想と資料収集

第2回　カフェレストランの形態と概要:デザイン設計のアウトラインと設計図書

第3回　立地環境・消費者動向・デザインの傾向を踏まえ計画

第4回　コンセプト、テーマの決定

第5回　デザイン計画（エスキス）

第6回　店舗構成、機能の配置と動線計画

第7回　平面図作図

第8回　断面・展開位置の決め方、記号の記入

第9回　展開図作図

第10回　動態寸法

第11回　天井伏図（配灯図）作図

第12回　サイン計画

第13回　什器図

第14回　レイアウト、プレゼンテーション

第15回　合評

■教科書:

■参考書:

■成績評価: 出席状況、取り組み姿勢、提出課題作品の達成度、等を総合的に評価する。

■関連科目: 商業施設デザイン演習Ⅰ

■履修上の留意点:

対象学科: 環境デザイン学科
対象専攻: インテリアデザイン専攻
担当教員: 島田佳孝 （非常勤講師）
実務経験: 北海道の設計事務所で実務を経験後、不動産と設計の会社を設立。住宅や店舗の設計・デザインを手掛ける。

科目名 : インテリア装備

履修形態: 必修
授業形態: 演習
履修学年: ２年次
開講学期: 前期
授業時数: ３０時間
単　　位: １単位

■科目概要: 各部の構法・材料・エレメント・防災安全・サイン計画について演習課題を通して学ぶ

■到達目標: インテリアプランナー試験（学科：装備）の分野の習得を目指す

■授業計画:

第1回　住宅における壁、床等の取り合い

第2回　床構法

第3回　階段

第4回　木製天井下地

第5回　開口部

第6回　窓、カーテン、ブラインド、シェード

第7回　和風造作

第8回　名作椅子、ベッド

第9回　照明器具、照明光源

第10回　カーペット（種類と工法）

第11回　建具、錠、家具金物

第12回　壁紙、塗壁、壁装

第13回　サイン計画

第14回　内装材

第15回　安全対策、火災安全」計画、煙制御

■教科書: インテリアプランナーガイドブック

■参考書:

■成績評価: 出席状況、取り組み姿勢、提出課題作品の達成度、等を総合的に評価する。

■関連科目:

■履修上の留意点:

対象学科: 環境デザイン学科
対象専攻: インテリアデザイン専攻
担当教員: 石塚和彦 （非常勤講師）
実務経験: 大手建設株式会社設計部門で、主に商業施設の建築設計・ 監理を担当。退社後、一級建築士事務所を設立し 、主に個人住宅・ 商業施設の設計に携わる。

科目名 : **住宅設計演習**

履修形態: 必修
授業形態: 演習
履修学年: ２年次
開講学期: 前期
授業時数: ６０時間
単　　位: ２単位

■科目概要: 住宅設計に係る基礎的な知識、技術、工法を踏まえ演習課題を通して住空間をデザインする基礎力を養う

■到達目標: ゾーニング、動線、建築構成要素等を学び、作図表現する能力、設計技術の基本を習得する

■授業計画:

第1回　住宅における人間工学と単位空間

第2回　住宅における環境工学とユニバーサルデザイン

第3回　木造の特性と2×4・RCの壁量

第4回　住宅設計課題1（敷地調査、状況分析、エスキース）

第5回　〃　制作1　平面図（通り芯・壁厚・内外壁の仕上げ）

第6回　〃　制作2　敷地・配置図

第7回　〃　制作3　立面図開口部のバランスとファサード

第8回　〃　制作4　細部構成・設備器具・家具

第9回　プレゼンテーション、講評会

第10回　住宅設計課題2（二世帯住宅）コンセプト立案、デザイン展開

第11回　〃　制作1　二世帯の関係性と配置の作図

第12回　〃　制作2　二世帯の断熱計画と生活時間帯（平面・断面図）

第13回　〃　制作3　階段～機能と演出効果、照明～光と影

第14回　〃　制作4　植栽の書き方と面積表・駐車場

第15回　プレゼンテーション、講評会

■教科書:

■参考書: コンパクト建築設計資料集成「住居」（日本建築学会）

■成績評価: 出席状況、取り組み姿勢、提出課題作品の達成度、等を総合的に評価する。

■関連科目:

■履修上の留意点:

対象学科: 環境デザイン学科
対象専攻: インテリアデザイン専攻
担当教員: 飯塚哉子 （専任教員）
実務経験: ファブリケーターの設計部にてホテルや複合施設、庁舎等の鋼構造物の詳細設計を担当

科目名 : **設備計画**

履修形態: 必修
授業形態: 講義
履修学年: ２年次
開講学期: 前期
授業時数: ６０時間
単　　位: ２単位

■科目概要: 建築の要素技術である建築設備の位置づけおよび概論的な内容を講義する。給排水衛生設備計画を進める上で必要となる基礎知識を習得する

■到達目標: 建築と設備の整合性と維持管理の重要性が把握できると共に、給排水・衛生設備計画手法を知る

■授業計画:

第1回　各種エネルギーの利用技術、省エネルギーのための各種技術

第2回　冷暖房設備:暖房設備の分類、コールドドラフト

第3回　冷暖房設備:冷凍機、ヒートポンプ、冷却塔

第4回　空気調和設備:各種空調方式、熱負荷計算

第5回　空気調和設備:換気設備、自然エネルギーの利用

第6回　電気設備:配電方式、配線方式、避雷設備

第7回　照明設備・ガス設備

第8回　給水給湯設備:給水方式、給水量、必要圧力

第9回　給水給湯設備:水質汚染防止、中水

第10回　排水通気設備:排水方式、トラップ、通気管

第11回　衛生設備:衛生器具、パイプスペース

第12回　消化防災設備:警報、防火、排煙、非難誘導

第13回　ごみ処理設備:基本的な設計提案

第14回　情報通信設備:UPS、CVCF、PBX、LAN、電磁シールドルーム

第15回　設備融合:保守管理、LC計画、中央管制、各種建築物の設備容量と機械室面積

■教科書: インンテリアコーディネーターハンドブック（上・下）

■参考書: 『建築設備学教科書』／建築設備教科書研究会編著（彰国社）

■成績評価: 出席状況、取り組み姿勢、提出課題作品の達成度、等を総合的に評価する。

■関連科目:

■履修上の留意点:

対象学科: 環境デザイン学科
対象専攻: インテリアデザイン専攻
担当教員: 飯塚哉子 （専任教員）
実務経験: ファブリケーターの設計部にてホテルや複合施設、庁舎等の鋼構造物の詳細設計・ 構造設計・ 積算を担当

科目名 : **建築一般**

履修形態: 必修
授業形態: 講義
履修学年: ２年次
開講学期: 前期
授業時数: ３０時間
単　　位: １単位

■科目概要: 建築物の構造システムや建築形態とそれに相応しい構造材料・構造方式、および各種構造における構法を学習する

■到達目標: 木質構法・鉄筋コンクリート構法・鉄骨構法を中心に、その役割・構成を理解する

■授業計画:

第1回　建築構法の概説（建築物の構成、構造方式の種類、構法の変遷）

第2回　主体構法（建築物への荷重・外力、水平構面とねじれ）

第3回　木質構法：木質構法の特徴、材料、木材の性質（ヤング係数、含水率、防腐防蟻）

第4回　木質構法：軸組構法、部材の接合法（継手、仕口）

第5回　木質構法：枠組壁構法、ツーバイフォー工法、生産の要点

第6回　木質構法：大断面集成材構法、大断面集成材による木造建築物

第7回　鉄筋コンクリート構法：構造形式、材料（セメントの種類、骨材）

第8回　鉄筋コンクリート構法：ラーメン、材料の性質と許容応力度

第9回　鉄筋コンクリート構法：壁式、PC、SRC

第10回　鉄骨構法：構造形式と特徴、鋼材の力学的特性

第11回　鉄骨構法：接合方法、架構、建方

第12回　過去の地震被害に見られる構法上の教訓

第13回　形態と構法

第14回　性能と構法

第15回　総括、テスト

■教科書:

■参考書:

■成績評価: 出席状況、取り組み姿勢、提出課題作品の達成度、等を総合的に評価する。

■関連科目:

■履修上の留意点 :建築技術の全体像を把握し、専門用語を習得して欲しい

対象学科: 環境デザイン学科
対象専攻: インテリアデザイン専攻
担当教員: 飯塚哉子 （専任教員）
実務経験: ファブリケーターの設計部にてホテルや複合施設、庁舎等の鋼構造物の詳細設計を担当

科目名 : **インテリア法規**

履修形態: 必修
授業形態: 講義
履修学年: ２年次
開講学期: 前期
授業時数: ３０時間
単　　位: １単位

■科目概要: 建築基準法及び建築基準法施工令を基本として、建築物自体の主要な技術基準、主要な建築制限、制度規定について学び、設計に際しての実務に応用すべく能力を養う

■到達目標: 建築基準法を正しく解釈し、建築法令集を適切に参照して法規的問題を解決できるようにする事を目的とする

■授業計画:

第1回　建築基準法の概要、建築関連の法体系

第2回　用語の定義（建築物に関する用語）準用工作物、特殊建築物

第3回　用語の定義（防火関係の用語）耐火、準耐、防火構造、性能

第4回　都市計画区域等のおける建築制限（集団規定）　道路

第5回　用途地域（用途地域の指定、建築物の用途制限）

第6回　面積算定（敷地面積、建築面積、延べ床）

第7回　面積制限（容積率、前面道路、建ぺい率）

第8回　高さ等の算定（建築物の高さ、軒の高さ、階数、避難階）

第9回　内装制限、消防法、防炎物品

第10回　建築手続（建築主、確認済証、確認申請、各種届出）

第11回　建築物自体の技術基準（単体規定）　一般構造（階段、便所）

第12回　居室の採光、有効開口部面積の算定、換気、ｼｯｸﾊｳｽ

第13回　居室の天井・床の高さ、共同住宅の界壁

第14回　建築設備（避雷設備、給排水設備、昇降機設備）

第15回　建設業法、景観法、バリアフリー法、建築士法、品確法、省エネ法

■教科書: 建築基準法関係法令集（建築資料研究社／日建学院 編）

■参考書: 学芸出版社　やさしい建築法規

■成績評価: 出席状況、取り組み姿勢、提出課題作品の達成度、等を総合的に評価する。

■関連科目:

■履修上の留意点 :法令集をつねに開き確認することを身につける

対象学科: 環境デザイン学科
対象専攻: インテリアデザイン専攻
担当教員: 島田佳孝　（非常勤講師）
実務経験: 北海道の設計事務所で実務を経験後、不動産と設計の会社を設立。設計競技のプレゼンテーションを手掛ける。

科目名　:　プレゼンテーションⅠ

履修形態: 必修
授業形態: 演習
履修学年: １年次
開講学期: 後期
授業時数: ６０時間
単　　位: ２単位

■科目概要: インテリア空間を表現するための手段としてのプレゼンテーションについて、知識と技術を学び、イメージや考えを相手に的確に伝える能力を養う

■到達目標: パースペクティブ、３ＤやＣＧなどの表現方法を用いて、空間を表現するための技術を習得する

■授業計画:

第1回　プレゼンテーションの概要

第2回　建築設計競技プレゼンテーション例の紹介と解説

第3回　設計主旨及びエスキース

第4回　基本設計

第5回　図面表現①

第6回　図面表現②

第7回　外観パース作成、モデリング

第8回　外観パース作成、テクスチャ貼り付け

第9回　外観パース作成、ヒューマンスケール、外構、植栽、背景合成

第10回　内観パース作成、モデリング

第11回　内観パース作成、光源設定

第12回　内観パース作成、テクスチャ貼り付け

第13回　エレメントの取り込み

第14回　レイアウト、校正

第15回　最終調整、仕上げ、プリントアウト

■教科書: 世界一わかりやすいIllustrator/Photoshop操作とデザインの教科書（技術評論社）

■参考書:

■成績評価: 出席状況、取り組み姿勢、提出課題作品の達成度、等を総合的に評価する。

■関連科目: プレゼンテーションⅡ

■履修上の留意点:

対象学科: 環境デザイン学科
対象専攻: インテリアデザイン専攻
担当教員: 島田佳孝　（非常勤講師）
実務経験: 北海道の設計事務所で実務を経験後、不動産と設計の会社を設立。設計競技のプレゼンテーションを手掛ける。

科目名　:　プレゼンテーションⅡ

履修形態: 必修
授業形態: 演習
履修学年: ２年次
開講学期: 後期
授業時数: ６０時間
単　　位: ２単位

■科目概要: インテリアの基本計画・設計を造形的表現、技術的表現を用いて的確に伝達するビジュアルプレゼンテーション技法を学ぶ

■到達目標: プレゼンテーションⅠで学習した基礎技術をもとに、建築、インテリア空間をより一層明確に表現・伝達する技術を習得する

■授業計画:

第1回　図面のレイアウトとバランス

第2回　図面表現、製図基準

第3回　平面図・配置図の表現と種類

第4回　立面図・樹木の表現と種類

第5回　断面図の表現と種類

第6回　コンセプト及び基本設計、マスタープラン

第7回　エスキース、スタディ模型

第8回　基本建築図の作図（平面図、立面図等）

第9回　基本建築図の作図（平面図、立面図等）

第10回　ドローイング

第11回　リアスティックな内観パースの作成（エレメントの配置）

第12回　モデリングとテクスチャ貼り付け

第13回　外観パース作成

第14回　モデリングとテクスチャ貼り付け

第15回　レイアウト調整、プレゼンテーション、講評

■教科書: 世界一わかりやすいIllustrator/Photoshop操作とデザインの教科書（技術評論社）

■参考書:

■成績評価: 出席状況、取り組み姿勢、提出課題作品の達成度、等を総合的に評価する。

■関連科目: プレゼンテーションⅠ

■履修上の留意点:

対象学科: 環境デザイン学科
対象専攻: インテリアデザイン専攻
担当教員: 飯塚哉子・ 石川恭行 （専任教員）
実務経験:

科目名 :	業界研究

履修形態: 必修
授業形態: 演習
履修学年: ２年次
開講学期: 後期
授業時数: ６０時間
単　　位: ２単位

■科目概要: キャリアプラン（進路設計）を計画・実行する力を育成する。自分の目指す業界、企業の具体的な調査・分析方法を習得し、エントリーシート･履歴書･ポートフォリオの作成を行い活用する能力を養う

■到達目標: 希望業界、希望職種への就職達成

■授業計画:

第1回　業界を知る（リサーチ、比較、ホームページの活用）、絞り込み

第2回　職種研究、絞り込み

第3回　キャリア教育基礎

第4回　企業研究・分析の基礎

第5回　企業分析演習

第6回　自己分析（就活計画報告書作成）

第7回　キャリアプランニングと将来設計

第8回　就職試験の概要と資格

第9回　エントリーシート･履歴書作成演習

第10回　ビジネスメール、ビジネスレター演習

第11回　就職活動マナー講座、ビジネスマナー演習

第12回　就職筆記試験対策①

第13回　就職筆記試験対策②

第14回　SPI対策

第15回　一般常識、時事問題対策（社会人としての法律知識）

■教科書:

■参考書:

■成績評価: 出席状況、取り組み姿勢、提出課題作品の達成度、等を総合的に評価する。

■関連科目:

■履修上の留意点:

対象学科: 環境デザイン学科
対象専攻: インテリアデザイン専攻
担当教員: 飯塚哉子 （専任教員）
実務経験:

科目名 :	前期課題制作Ⅰ

履修形態: 必修
授業形態: 演習
履修学年: １年次
開講学期: 前期
授業時数: ３０時間
単　　位: １単位

■科目概要: 日常の講義や演習を通して学んだ発想、技法を活かし、前期のまとめとして課題制作を行い、各種コンテスト（コンペ、公募、アワード）へ出品する

■到達目標: 必要な資料を収集するリサーチ能力や、多様な視点から発想を広げて具体的な表現に展開する力を身に付ける

■授業計画:

第1回　情報収集

第2回　収集データの解析と加工

第3回　傾向と対策

第4回　アイディア出し、エスキース

第5回　ファーストインプレッション

第6回　アウトプット

第7回　ブラッシュアップ作業

第8回　コンセプトワーク、ターゲットユーザー

第9回　構成とロジック

第10回　モックアップ（模型）制作

第11回　実制作（自分らしい表現方法を知り、双方向なプレゼンテーションを目指す）

第12回　ブラッシュアップ作業

第13回　実制作

第14回　自分の意見・考えを確立した説得力のあるプレゼンテーション

第15回　フィードバック

■教科書:

■参考書:

■成績評価: 取り組み姿勢、提出課題作品の達成度、等を総合的に評価する。

■関連科目:

■履修上の留意点 :

対象学科: 環境デザイン学科
対象専攻: インテリアデザイン専攻
担当教員: 飯塚哉子 （専任教員）
実務経験:

科目名 :	前期課題制作Ⅱ

履修形態: 必修
授業形態: 演習
履修学年: ２年次
開講学期: 前期
授業時数: ３０時間
単　　位: １単位

■科目概要: 日常の講義や演習を通して学んだ発想、技法を活かし、前期のまとめとして課題制作を行い、各種コンテスト（コンペ、公募、アワード）へ出品する

■到達目標: 必要な資料を収集するリサーチ能力や、多様な視点から発想を広げて具体的な表現に展開する力を身に付ける

■授業計画:

第1回　情報収集

第2回　収集データの解析と加工

第3回　傾向と対策

第4回　アイディア出し、エスキース

第5回　ファーストインプレッション

第6回　アウトプット

第7回　ブラッシュアップ作業

第8回　コンセプトワーク、ターゲットユーザー

第9回　構成とロジック

第10回　モックアップ（模型）制作

第11回　実制作（自分らしい表現方法を知り、双方向なプレゼンテーションを目指す）

第12回　ブラッシュアップ作業

第13回　実制作

第14回　自分の意見・考えを確立した説得力のあるプレゼンテーション

第15回　フィードバック

■教科書:

■参考書:

■成績評価: 取り組み姿勢、提出課題作品の達成度、等を総合的に評価する。

■関連科目:

■履修上の留意点 :

対象学科: 環境デザイン学科
対象専攻: インテリアデザイン専攻
担当教員: 飯塚哉子 （専任教員）
実務経験:

科目名 :	後期課題制作

履修形態: 必修
授業形態: 演習
履修学年: １年次
開講学期: 後期
授業時数: ３０時間
単　　位: １単位

■科目概要: 日常の講義や演習を通して学んだ発想、技法を活かし、後期のまとめとして課題制作を行う。進級制作に繋がる資料収集、準備、計画に役立てる

■到達目標: 必要な資料を収集するリサーチ能力や、多様な視点から発想を広げて具体的な表現に展開する力を身に付ける

■授業計画:

第1回　情報収集

第2回　収集データの解析と加工

第3回　傾向と対策

第4回　アイディア出し、エスキース

第5回　ファーストインプレッション

第6回　アウトプット

第7回　ブラッシュアップ作業

第8回　コンセプトワーク、ターゲットユーザー

第9回　構成とロジック

第10回　モックアップ（模型）制作

第11回　実制作（自分らしい表現方法を知り、双方向なプレゼンテーションを目指す）

第12回　ブラッシュアップ作業

第13回　実制作

第14回　自分の意見・考えを確立した説得力のあるプレゼンテーション

第15回　フィードバック

■教科書:

■参考書:

■成績評価: 取り組み姿勢、提出課題作品の達成度、等を総合的に評価する。

■関連科目:

■履修上の留意点 :

対象学科: 環境デザイン学科
対象専攻: インテリアデザイン専攻
担当教員: 飯塚哉子 他　（専任教員）（非常勤講師）
実務経験:

科目名 :	進級制作

履修形態: 必修
授業形態: 演習
履修学年: １年次
開講学期: 後期
授業時数: １８０時間
単　　位: ６単位

■科目概要: 一年間の学業で身に付けた専門知識と技術を集大成した作品を制作する

■到達目標: 一年間の学習の成果が充分に発揮できている作品を完成させる

■授業計画:

第1回　講師打合せ(1)　各課題の内容を確認し、制作内容を各担当講師と打合せる

第2回　講師打合せ(2)

第3回　講師打合せ(3)

第4回　実制作(1)　打合せ内容に基き作品制作を行う

第5回　実制作(2)

第6回　実制作(3)

第7回　実制作(4)

第8回　実制作(5)

第9回　制作内容確認　中間成果物に対して担当講師による内容確認を受ける

第10回　ブラッシュアップ(1)

第11回　ブラッシュアップ(2)

第12回　ブラッシュアップ(3)

第13回　ブラッシュアップ(4)

第14回　プレゼンテーション準備　審査会に向けて発表資料を作成する

第15回　進級制作審査会　作品のプレゼンテーションを行い作品の評価を受ける

■教科書:

■参考書:

■成績評価: 取り組み姿勢、提出課題作品の達成度、等を総合的に評価する。

■関連科目:

■履修上の留意点:

対象学科: 環境デザイン学科
対象専攻: インテリアデザイン専攻
担当教員: 飯塚哉子 他　（専任教員）（非常勤講師）
実務経験:

科目名　:	卒業制作

履修形態: 必修
授業形態: 演習
履修学年: ２年次
開講学期: 後期
授業時数: ４５０時間
単　　位: １５単位

■科目概要: 二年間の学習で身につけた専門知識と技術の集大成となる作品を制作する

■到達目標: 実力を充分に発揮したと社会的に評価されるレベルの作品を完成させる

■授業計画:

第1回　コンセプトメイキング　作品のターゲットとテーマを設定する

第2回　講師打合せ　担当講師と制作内容を確認

第3回　一次審査提出作品制作(1)

第4回　一次審査提出作品制作(2)

第5回　一次審査提出作品制作(3)

第6回　一次審査提出作品制作(4)

第7回　プレゼンテーション準備　一次審査に向けての資料作成

第8回　一次審査　プレゼンテーション

第9回　一次審査フィードバック　講評内容と今後の方向性の確認

第10回　最終審査提出作品制作(1)

第11回　最終審査提出作品制作(2)

第12回　最終審査提出作品制作(3)

第13回　最終審査提出作品制作(4)

第14回　最終審査提出作品制作(5)

第15回　最終審査　プレゼンテーション

■教科書:

■参考書:

■成績評価: 出席状況、取り組み姿勢、提出課題作品の達成度、等を総合的に評価する。

■関連科目:

■履修上の留意点